

Guardant360 CDxがん遺伝子パネルの ポータルサイト更新に関するお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記検査項目におきまして、ポータルサイトの利便性向上のためにポータルサイトが更新されるに伴い、下記のように変更いたします。

健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 変更日 2024年4月1日(月)より

■ 対象項目

項目コード	検査項目
OD586	Guardant360 CDx がん遺伝子パネル

■ 変更内容

依頼書と報告書の変更がございますので詳細は裏面をご覧ください。

■ 留意事項

ポータルサイト更新のためのサーバーメンテナンスが行われ、下記の期間は利用停止になります。

利用停止期間：2024年3月30日(土) 9:00~3月31日(日) 18:00(予定)

* 作業状況により、期間が多少前後する場合がございます。

* メンテナンス中は、依頼作成、依頼修正、結果返却、C-CATへ送信などGuardant360 CDxがん遺伝子パネル検査ポータルサイトを用いる全てのサービスが実施することができませんのでご注意ください。



■ 変更内容について

本内容は、ポータルサイト上に4月1日頃より表示されます。(C-CATポータル上では3月25日に告知予定です)

- ① ポータルサイトから本検査依頼時に出力いただく、依頼書（SRL入力用/営業所控え）下段あたりの検体安全性の確認に関する記載箇所が削除されます。
 - ② ポータルサイトからダウンロードいただく、解析結果報告書の最終ページの注意書きに下記文章が追記されます
- 1) 医薬品に対するコンパニオン診断におけるRAS野生型の判定には、*KRAS*遺伝子（エクソン2（コドン12、13）、エクソン3（コドン59、61）、エクソン4（コドン117、146））及び*NRAS*遺伝子（エクソン2（コドン12、13）、エクソン3（コドン59、61）、エクソン4（コドン117、146））が用いられている。また、腫瘍由来DNAが血漿中に十分滲出していない患者では、腫瘍組織にRAS変異が存在しても、本検査で野生型と判定される可能性があることを考慮すること。本検査によるRAS野生型の判定を医薬品に対する適応判定の補助として使用する場合には、可能な限り組織を用いた検査等の実施を考慮すること。